

令和3年度 第4回 運行管理高度化検討会 議事概要

【日時】令和4年3月23日（水）16:00～18:00

【出席委員】寺田座長、伊藤委員、今井委員、小田切委員、小野委員、酒井委員、佐竹委員、篠宮委員、松谷委員、向委員

議事次第に沿って、事務局から資料を説明後、意見交換が行われた。

委員から出された主な意見は以下の通り。

意見交換後、乗務後自動点呼の最終とりまとめについて合意された。

[遠隔点呼の実証実験評価状況及び制度運用について]

- 遠隔点呼導入の効果として、運転者側の営業所の運行管理者について、長時間労働の是正にもつながると思料。
- 制度運用に際して、運行管理高度化検討会の監督下で遠隔点呼の実施を認めていくとのことだが、検討会では運輸支局が要件を満たすと判断されたものをただ承認するだけでなく、今後の制度設計に参考となる情報も共有していただき、必要に応じて議論を行うことも必要ではないか。
- 業界団体と連携し、地方毎で遠隔点呼制度の説明会をお願いしたい。
- 今後の遠隔点呼の運用を踏まえて、非常事案発生時の対応方法のひな形を作成してはどうか。

[乗務後自動点呼の最終とりまとめについて]

- 機器故障に関する要件を含め、高額な機器では事業者の導入も難しくなるため今回提案された要件で一旦進めるのが妥当である。

[運行管理高度化のシナリオ及び令和4年度検討スケジュールについて]

- シナリオの中で、遠隔点呼について将来的に範囲の拡大の可能性はある点は希望があって良い。
- 運行指示者の一元化で対象とする運行は、バス以外にもトラックの中継輸送も追加すべきである。
- 健康管理や労務管理に関して、営業所を跨いで実施できれば、営業所の規模によらず適切に行われる可能性もあり、検討いただきたい。

[その他]

- 先進的な取組だけでなく、中小規模の現場見学の間があるとうりがたい。また、導入に困っている事業者の助けになるように、事例集の作成等も検討してほしい。

以上